

プログラム

文化特別講演

第1日目：5月29日（木） 14：50～15：50 第1会場

座長：松村 一 東京医科大学 形成外科学分野

西田幾多郎の時間論―「永遠の今」について―

浅見 洋 西田幾多郎記念哲学館長、石川県立看護大学名誉教授

学術特別講演

第1日目：5月29日（木） 15：50～16：20 第1会場

座長：島田 賢一 金沢医科大学 形成外科

医用画像からの3DCG再構成を「超速く」「超綺麗に」しただけで何かが変わるのか？

瀬尾 拓史 株式会社サイアメント

台湾熱傷学会特別企画

第1日目：5月29日（木） 16：25～17：55 第1会場

座長：小川 令 日本医科大学 形成外科

- TS1 Outcomes of high-voltage vs low-voltage electrical injuries- Analysis from 25 years of experience in a single medical center and systematic literature review**
Szu-Hsien Wu Director of Burn Center, Taipei Veterans General Hospital
- TS2 Renal replacement therapy for acute kidney injury in major burns: An outcome analysis in an Asian tertiary center and a nationwide survey**
Hao-Yu Chiao Division of Plastic Surgery, Department of Surgery, Tri-Service General Hospital, National Defense Medical Center
- TS3 Wound dressing and surgical management for pediatric burns**
Wen-Teng Yao Division of Plastic Surgery, Department of Surgery, Mackay Memorial Hospital
- TS4 Enzymetic therapy in burn patients: the use of Nexobrid.**
Ying-Chun Liu Plastic surgery/Burn center, Mackay memorial hospital
- TS5 Risk factors for keloid recurrence in Taiwan**
Chia-Hsuan Tsai Chief of Division of Plastic and Reconstructive Surgery, Department of Surgery, Chang Gung Memorial Hospital, Keelung branch
- TS6 Rehabilitation issues of lower extremity burn injuries**
Katie Pei-Hsuan Wu Department of Physical Medicine and Rehabilitation, Chang Gung Memorial Hospital-Linkou
- TS7 Nurses' role for burn care in Taiwan**
Tao-Wen Hsiao RN, Burn Center, Department of Nursing, Taipei Veterans General Hospital
- TS8 Psychological Rehabilitation and Posttraumatic Growth for Patients with Burn Injuries: A ThreePhase Approach**
Ting-Chia Wang Chief Clinical Psychologist, Department of Psychiatry; Burn Rehabilitation and Post-Acute Care Center, New Taipei City Hospital, Taiwan

特別シンポジウム

第1日目：5月29日（木） 9：00～10：40 第1会場

熱傷学会の今後 ―学会員の増加、若返りを図るために―

座長：松村 一 東京医科大学 形成外科学分野

佐々木 淳一 慶應義塾大学医学部 救急医学

SSY1 熱傷学・熱傷診療の新たな魅力を多角的に伝えるには？

井上 貴昭 筑波大学医学医療系 救急・集中治療医学

SSY2 若手医師に求められるグローバルな視点―世界の熱傷治療と日本の役割

小川 令 日本医科大学 形成外科

SSY3 若者の関心をどう高める？―熱意の伝承―

海田 賢彦 杏林大学医学部 救急医学

SSY4 医師としての原点である熱傷―熱傷治療の醍醐味を次世代に伝えたい―

三川 信之 千葉大学 形成外科

SSY5 地方で熱傷専門医を増やす取り組み

上田 敬博 鳥取大学医学部附属病院 高度救命救急センター

SSY6 一般社団法人日本熱傷学会の変遷と今後の課題

櫻井 裕之 東京女子医科大学 形成外科

シンポジウム 1

第1日目：5月29日（木） 10：50～12：40 第1会場

ヒト（自己）表皮由来細胞シート（自家培養表皮ジェイス®）治療の最前線
—適応の限界、最適な使用方法（術後管理）—

座長：中島 紳史 JCHO 中京病院 救急科

林 稔 聖マリア病院 形成外科

SY1-01 当院での JACE® の使用方法—局所陰圧閉鎖療法による母床形成の有用性について—
西浦 嵩弥 大阪けいさつ病院 ER・救命救急科

SY1-02 良好母床への delayed grafting を意識した培養表皮移植
中島 紳史 JCHO 中京病院 救急科

SY1-03 培養表皮 JACE® の部位別生着率の検討～背面への生着向上を目指して～
青木 弘道 東海大学医学部総合診療学系 救命救急医学

SY1-04 自家培養表皮ジェイス® の弱点とその対策
西井 洋一 宇治徳洲会病院 形成外科

SY1-05 JACE® 移植に先行して分層メッシュ植皮と RECELL® を併用した新たな治療戦略
林 稔 聖マリア病院 形成外科

SY1-06 当院における広範囲熱傷の傾向と自家培養表皮（ジェイス®）を用いた治療戦略
菅 崇暢 広島大学大学院医系科学研究科 皮膚科学

SY1-07 自家培養表皮適応拡大の必要性～超広範囲熱傷と乳幼児熱傷～
黒柳 美里 横浜市立大学附属市民総合医療センター 高度救命救急センター

SY1-08 自家培養表皮ジェイス® の使用歴からみた重症熱傷の傾向と培養中止症例の解析
清水 義博 株式会社ジャパン・ティッシュエンジニアリング

シンポジウム 2

第2日目：5月30日（金） 8：40～10：20 第1会場

パynaップル茎搾汁精製物（壊死組織除去剤ネキソブリッド[®]外用ゲル）治療の最前線①
—pseudo eschar とは—

座長：海田 賢彦 杏林大学医学部 救急医学

榎村 勉 日本大学医学部 形成外科

SY2-01 演題取下げ

SY2-02 われわれの深達性Ⅱ度熱傷創に対するデブリードマンの変遷と現状

榎村 勉 日本大学医学部 形成外科

SY2-03 組織学的所見からみた壊死組織除去剤ネキソブリッド[®]のデブリードマン効果

関口 真央 北里大学病院 形成外科・美容外科

SY2-04 ネキソブリッド[®]使用後のpseudo eschar に関して

森田 尚樹 地方独立行政法人東京都立病院機構 東京都立広尾病院 形成外科

SY2-05 ネキソブリッド[®]を使用した症例の検討：Pseudo-eschar を中心に

三浦 智孝 岐阜大学医学部附属病院 高次救命治療センター

SY2-06 新規壊死組織除去剤 NexoBrid[®]を使用した症例に対する病理学的検討

杉原 佳奈 福岡徳洲会病院 形成外科

シンポジウム 3

第2日目：5月30日（金） 10：30～12：10 第1会場

パイナップル茎搾汁精製物（壊死組織除去剤ネキソブリッド®外用ゲル）治療の最前線②
—適応時期、適応の限界—

座長：井上 貴昭 筑波大学医学医療系 救急・集中治療医学

根本 充 北里大学医学部 形成外科・美容外科学

SY3-01 ネキソブリッド®による Tangential excision and immediate grafting

石井 美里 北九州総合病院 形成外科

SY3-02 ネキソブリッド®は、DDB 熱傷、外科的切除に逡巡する飛び石状病変に有用である

中島 紳史 JCHO 中京病院 救急科

SY3-03 DDB 治療におけるネキソブリッド®の役割

本間 健人 東京女子医科大学病院 形成外科

SY3-04 ネキソブリッド®外用ゲルの治療経験～広範囲熱傷症例における適応と治療戦略～

水口 誠人 徳島大学病院 形成外科・美容外科

SY3-05 ネキソブリッド®の現状と課題—重症熱傷に対して使用する意義—

海田 賢彦 杏林大学医学部 救急医学

シンポジウム 4

第2日目：5月30日（金） 13：30～15：20 第1会場

自家皮膚細胞移植用キット（RECELL[®] 自家細胞採取・非培養細胞懸濁液作製キット）治療の最前線
—最適な使用方法、他治療との併用療法—

座長：坂本 道治 香川大学医学部 形成外科・美容外科

黒木 雄一 JCHO 中京病院 救急科

SY4-01 広範囲熱傷に対し2回のNexoBrid[®]とRECELL[®]を併用し加療した1例

梅田 将斗 伊那中央病院 形成外科

SY4-02 RECELL[®]と人工真皮にて良好な上皮化を得られた高齢者の熱傷の小経験

生越 智文 鳥取大学医学部附属病院 救急科

SY4-03 NexoBrid[®]とRECELL[®]単独使用にて手足の深達性Ⅱ度熱傷に低侵襲性熱傷治療を行った症例

青木 昂平 東京医科大学 形成外科学分野

SY4-04 熱傷壊死組織除去剤ネキシブリッド[®]を用いた当院の使用経験

井上 佐和 鹿児島市立病院 形成外科

SY4-05 RECELL[®]とバーサジェット[®]併用治療の有効性と最適化：低侵襲で迅速な創閉鎖

坂本 道治 香川大学医学部 形成外科・美容外科

SY4-06 広範囲熱傷における自家細胞混濁液（RECELL[®]）を用いた治療戦略

上畠 篤 東海大学医学部 救命救急医学

SY4-07 RECELL[®]の可能性と試み～これまでとこれからと、現在～

渡邊 亮典 愛知医科大学病院 形成外科

SY4-08 自家皮膚細胞移植キット（RECELL[®]）は熱傷治療のGame Changerとなりえるのか

草島 英梨香 市立札幌病院 形成外科

シンポジウム 5

第2日目：5月30日（金） 15：30～16：50 第1会場

トラフェルミン（遺伝子組換え）製剤（褥瘡・皮膚潰瘍治療剤フィブラス
ト[®]スプレー）あらたな Revolution
—集積された臨床経験と新たな使用法の模索—

座長：副島 一孝 日本大学医学部 形成外科

宮永 亨 金沢医科大学 形成外科

SY5-01 トラフェルミン製剤の血管新生促進作用を利用した臨床応用（基礎から応用へ）

宮永 亨 金沢医科大学 形成外科

SY5-02 トラフェルミンによる熱傷治療の再考—有用性の再評価と適応拡大

小室 明人 金沢大学 形成外科

SY5-03 腋窩熱傷に対し OASIS[®] 細胞外マトリックスを用いたサンドイッチ法の治療経験

森川 周至 八尾徳洲会総合病院 形成外科

SY5-04 bFGF 徐放性人工真皮ペルナック G プラス[®] を用いた新たな熱傷治療

坂本 道治 香川大学医学部 形成外科・美容外科

SY5-05 熱傷治療におけるトラフェルミン製剤の 10 年の臨床経験と今後の展望

樫村 勉 日本大学医学部 形成外科

パネルディスカッション 1

第1日目：5月29日（木） 10：50～12：10 第2会場

小範囲熱傷治療

座長：黒川 正人 熊本赤十字病院 形成外科

安田 浩 新田原聖母病院 形成外科

PD1-01 アクアセル®Ag アドバンテージを用いた DDB の保存的デブリードマン

竹内 ともみ 日本大学 医学部 形成外科

PD1-02 熱傷創のバイオフィルムをなくす～ Sorbact® による熱傷創管理～

木村 知己 川崎医科大学 形成外科学

PD1-03 疼痛軽減を目的に私が行ってきた外来における熱傷治療の実際

黒川 正人 熊本赤十字病院 形成外科

PD1-04 患者満足度を考慮した外来での熱傷診療

身原 京美 身原皮ふ科・形成外科クリニック

パネルディスカッション 2

第2日目：5月30日（金） 10：10～12：10 第2会場

座長：佐藤 幸男 慶應義塾大学 医学部救急医学

Keynote speech 製品による火傷事故の防止における関係機関の役割分担について

齋藤 駿介 独立行政法人製品評価技術基盤機構（NITE）

生活家電・機器による特殊な熱傷
—予防のための啓蒙と啓発—

座長：古川 洋志 愛知医科大学 形成外科

山田 祥子 富田るり子皮膚科クリニック

PD2-01 エステサロンでの痩身用美容機器で受傷した熱傷の一例

伊藤 悠介 総合大雄会病院 形成外科

PD2-02 生活家電による熱傷～電気ケトルについて～

黒木 雄一 JCHO 中京病院 救急科

PD2-03 ヘアアイロンによる小範囲熱傷に対する早期受診啓発の必要性について

山田 祥子 富田るり子皮膚科クリニック

PD2-04 調理・食事に関連した電気器具等による小児熱傷症例の検討

岩瀬 史明 山梨県立中央病院 高度救命救急センター

PD2-05 家庭内での小児熱傷の経時的変化—将来の予防戦略を考える—

山元 良 慶應義塾大学 医学部 救急医学

PD2-06 当院における小児の家庭内熱傷の原因分析および再発予防策について

谷 ありさ 福岡大学 形成外科

PD2-07 当院における乳幼児熱傷症例の検討

羽多野 隆治 大阪市立総合医療センター 形成外科

パネルディスカッション 3

第2日目：5月30日（金） 15：30～16：50 第2会場

熱傷瘢痕拘縮の治療
ー 10年以上の長期症例から学ぶー

座長：田中 克己 重工記念長崎病院 形成外科

岸邊 美幸 金沢医科大学 形成外科

PD3-01 足部熱傷後瘢痕拘縮症例に対する外科的治療ー長期フォローの症例から学ぶー

本間 健人 東京女子医科大学病院 形成外科

PD3-02 熱傷瘢痕拘縮症例の長期経過

岸邊 美幸 金沢医科大学 形成外科

PD3-03 高度熱傷後瘢痕拘縮症例における遊離皮弁術を振り返るー長期経過症例から得たものー

田中 克己 重工記念長崎病院 形成外科

PD3-04 熱傷再建における長期経過観察の必要性

小川 令 日本医科大学 形成外科

PD3-05 11年～44年の長期経過観察結果を踏まえた熱傷瘢痕、瘢痕拘縮治療戦略の考察

鈴木 茂彦 浜松ろうさい病院 形成外科

学術委員会報告

第1日目：5月29日（木） 14：30～14：45 第1会場

日本熱傷学会学術委員会報告 2025

井上 貴昭 日本熱傷学会学術委員会

編集委員会企画

第2日目：5月30日（金） 13：30～14：30 第2会場

座長：佐藤 幸男 慶應義塾大学医学部 救急医学

知れば納得！査読者の視点と論文執筆

大前 憲史 福島県立医科大学附属病院 臨床研究教育推進部

熱傷用語特別委員会企画

第2日目：5月30日（金） 14：35～15：20 第2会場

熱傷用語 2025 改訂版発行記念一改訂内容の解説一

座長：副島 一孝 日本大学医学部 形成外科

海田 賢彦 杏林大学医学部 救急医学

改訂版作成作業と改訂点の概要

樫村 勉 日本大学医学部 形成外科

救急医学領域から改訂点の解説

工藤 大介 東北大学 高度救命センター

形成外科領域からの改訂点の解説

黒柳 美里 横浜市立大学 救急・形成外科

ランチョンセミナー 1

第1日目：5月29日（木） 12：50～13：50 第1会場

座長：小川 令 日本医科大学 大学院医学研究科 形成再建再生医学分野

LS1 整容性と機能性を追求した熱傷手術を考える

加藤 敬 JCHO 中京病院 形成外科

共催：コスモテック株式会社

ランチョンセミナー 2

第1日目：5月29日（木） 12：50～13：50 第2会場

救命と機能は両立できるのか？～2人の救命救急医の挑戦～

座長：林 稔 聖マリア病院 形成外科

LS2-1 デブリ後創面（4度熱傷／深筋膜や腱の変性を疑うとき）の VIABILITY 評価に、人工真皮は有用である。

中島 紳史 JCHO 中京病院 救急科

LS2-2 治す・帰す・伝える～若手医師に繋ぐ熱傷治療～

浅井 英樹 奈良県立医科大学 高度救命救急センター

共催：株式会社ジャパン・ティッシュエンジニアリング／株式会社ジーシー

ランチョンセミナー 3

第1日目：5月29日（木） 12：50～13：50 第3会場

Evolution of Wound Management：NPWTで切り拓く！新しい治療のカタチ

座長：島田 賢一 金沢医科大学 形成外科

**LS3-1 Trends and Innovation in Negative Pressure Wound Therapy：
Burns Wound Management**

Edin Nuhiji Asia Medical Affairs Leader, Solrentum Australia

LS3-2 当院当科における NPWT 使用経験と適応、またその工夫

中尾 仁美 近畿大学医学部 形成外科

共催：ソルベンタム合同会社／ケーシーアイ株式会社

ランチョンセミナー 4

第2日目：5月30日（金） 12：20～13：20 第1会場

Enzymatic Debridementが切り拓く新しい熱傷治療

座長：清住 哲郎 防衛医科大学校病院 救急部

LS4-1 Enzymatic Debridement～基本とピットフォール～

金井 雅彦 千葉県総合救急災害医療センター 形成外科

LS4-2 重症熱傷治療に、いかに Enzymatic Debridement を活かすか

工藤 大介 東北大学大学院 医学系研究科救急医学分野

共催：科研製薬株式会社

ランチョンセミナー 5

第2日目：5月30日（金） 12：20～13：20 第2会場

座長：島田 賢一 金沢医科大学 形成外科

LS5 人工真皮の違いと適応を文献 Review して考える

—テルダーミス®Ag プロテクトの使用例も提示します—

宮永 亨 金沢医科大学 形成外科

共催：アルケア株式会社

スイーツセミナー

第1日目：5月29日（木） 16：35～17：35 第2会場

熱傷治療と感染管理の今此

座長：大須賀 章倫 JCHO 中京病院 救急科

SS1 熱傷界限で最近気になる緑のアレ

櫻井 敦 兵庫県立加古川医療センター 形成外科

SS2 MEEK システムと Sorbact® の手術戦略と手技検討

渡邊 亮典 愛知医科大学病院 形成外科

共催：センチュリーメディカル株式会社 39

一般演題 1 [口演]

第1日目：5月29日（木） 9：00～9：50 第3会場

再建

座長：村尾 尚規 斗南病院 形成外科

O1-01 70年前の熱傷瘢痕に生じた背部難治性潰瘍の1例

黒川 正人 熊本赤十字病院 形成外科

O1-02 DP皮弁により顔面ほぼ全域の熱傷瘢痕拘縮を置換した1例

四ッ柳 高敏 札幌医科大学 医学部 形成外科

O1-03 顔面3度熱傷に対し局所皮弁での再建と高気圧酸素療法を併用した1例

川口 謙太郎 筑波大学 医学医療系 形成外科

O1-04 静脈移植と有茎広背筋皮弁で再建した電撃傷の1例

伊師 森葉 東北大学大学院医学系研究科 形成外科学分野

O1-05 手背のheat pressによる熱傷症例1例の治療経験

入澤 太郎 大阪大学大学院医学系研究科 救急医学

O1-06 全足趾の切断を要した両足熱傷の治療経験

松浦 喜貴 大津赤十字病院 形成外科

一般演題 2 [口演]

第1日目：5月29日（木） 9：50～10：30 第3会場

皮膚移植

座長：木村 中 函館中央病院 形成外科

O2-01 形成外科領域における RECELL[®] の使用意義

成瀬 莉沙 JCHO 中京病院 形成外科

O2-02 手指火焰熱傷における RECELL[®] 併用網状分層植皮とシート状分層植皮との比較

辻本 賢樹 聖隷三方原病院 形成外科

O2-03 全身3度熱傷に対し同種皮膚移植と RECELL® を併用し上皮化を認めた一例

掛川 恭吾

信州大学 医学部 形成再建外科学教室

O2-04 RECELL® を併用した植皮術の母床形成における局所陰圧閉鎖療法の使用経験

藤原 さら

大阪けいさつ病院 ER・救命救急科

O2-05 当科における背部熱傷治療の工夫

加藤 杏珠

愛知医科大学病院 形成外科

一般演題 3 [口演]

第1日目：5月29日（木） 16：25～17：15 第3会場

疫学

座長：栗原 智宏

国立病院機構東京医療センター 救命救急センター

O3-01 熱傷手術における体温低下が術後へ及ぼす影響について

吉野 匠

山梨県立中央病院 高度救命救急センター

O3-02 高齢熱傷患者の予後予測因子

阿部 正宗

杏林大学医学部付属病院 高度救命救急センター

O3-03 学術誌「熱傷」に掲載された熱傷研究の特徴～BERTopicを用いた分析～

久保 大輔

横浜市立大学大学院 データサイエンス研究科 ヘルスデータサイエンス専攻 博士前期課程

O3-04 気道熱傷が院内死亡率に与える影響の異質性—熱傷入院患者レジストリー研究—

渡邊 達也

水戸医療センター 救急科

O3-05 当センターの気道熱傷における挿管判断の検討

庄古 知久

東京女子医科大学附属足立医療センター 救命救急センター

O3-06 日本スキンバンクネットワーク9年間の実績データの分析

青木 大

一般社団法人日本スキンバンクネットワーク

一般演題 4 [口演]

第1日目：5月29日（木） 17：15～17：55 第3会場

全身管理

座長：土井 智章 富山大学附属病院 災害・救命センター

O4-01 広範囲熱傷に水圧式デブリードマンと自家皮膚細胞懸濁液を併用し良好な結果を得た一例

小西 浩之 東京医科大学八王子医療センター

O4-02 搬入 8 時間以内の過少な輸液量は搬入 24 時間後のケリー・マクローリン値を増悪させる

梶山 翼 防衛医科大学校病院 救急部

O4-03 ネキシブリッド[®] 使用に伴う高熱とショックの臨床的特徴：複数症例の報告

大西 伸也 JCHO 中京病院 救急科

O4-04 ネキシブリッド[®] による化学的デブリ後に気管挿管を要した広範囲顔面熱傷の 1 例

三宅 瞳 和歌山県立医科大学付属病院 救急集中治療部

O4-05 早期からの Post Intensive Care Syndrome (PICS) 予防介入に難渋した重症熱傷患者の 1 例

森 拓也 北里大学病院 救命救急災害医療センター ICU

一般演題 5 [口演]

第2日目：5月30日（金） 10：00～10：40 第3会場

研究

座長：清住 哲郎 防衛医科大学校病院 救急部

O5-01 有人月面活動における熱傷対応：課題識別のための初期検討

横田 航志 筑波大学附属病院 救急・集中治療科

O5-02 Dectin-1 アンタゴニスト局所投与による熱傷治癒の促進

佐藤 佑樹 東北大学大学院 医学系研究科 看護技術開発学分野

O5-03 熱傷モデルマウス血清による肺胞上皮バリア機能に対する影響の検討

大河原 悠介 鳥取大学 医学部 附属病院 高度救命救急センター

O5-04 熱傷モデルマウスの脳神経細胞に対するビタミンDの作用について

福井 志織 慶應義塾大学 医学部

O5-05 熱傷モデルマウスにおいてビタミンDが急性期の腸内細菌叢に与える影響

小田 恭三 慶應義塾大学 医学部

一般演題 6 [口演]

第2日目：5月30日（金） 10：40～11：30 第3会場

感染

座長：宮崎 裕美 防衛医科大学校 防衛医学研究センター 医療工学研究部門

O6-01 小児熱傷患者に見られる耐性菌の変遷に関する検討

藤塚 健次 前橋赤十字病院 集中治療科・救急科

O6-02 熱傷を契機として発症した Toxic Shock Syndrome の1例

京野 香織 弘前大学 形成外科

O6-03 左上腕熱傷に対する四肢切断術後の上腕骨骨髓炎に対し、CLAP療法が有用だった1例

辛 路徳 千葉県総合救急災害医療センター 形成外科

O6-04 熱傷患者における菌血症予測因子の探索

井上 茂亮 和歌山県立医科大学 救急集中治療医学講座

O6-05 *S. maltophilia* 菌血症9例の検討

瀧瀬 翔太 杏林大学 医学部 付属病院 高度救命救急センター

O6-06 受傷後2週間以内の熱傷創部培養の検討

吉川 慧 杏林大学 医学部 救急医学

一般演題 7 [口演]

第2日目：5月30日（金） 14：30～15：20 第3会場

多職種連携

座長：木村 雅彦 杏林大学 保健学部 理学療法学科

O7-01 児童虐待防止・早期介入への取り組み

濱口 満英 ベルランド総合病院 急病救急部

O7-02 高齢熱傷患者の意思決定プロセス：搬送時意識不明・家族不在例の治療方針と課題

小林 昇平 金沢大学附属病院 形成外科

O7-03 75歳以上の熱傷患者における日常生活動作についての検討

田邊 裕美 亀田総合病院 形成外科

O7-04 熱傷患者におけるリハビリテーションの介入効果について

小林 克也 地方独立行政法人 山梨県立病院機構 山梨県立中央病院 リハビリテーション科

O7-05 熱傷術後患者における早期離床と運動機能との関連

亀井 俊輔 鳥取大学医学部附属病院 リハビリテーション部

O7-06 整容性の高い手熱傷治療のための多職種による連携治療

窪田 吉孝 千葉大学医学部 形成外科

一般演題 8 [口演]

第2日目：5月30日（金） 15：20～16：00 第3会場

創傷治癒①

座長：福田 憲翁 山形大学医学部 歯科口腔・形成外科学講座

O8-01 パイナップル茎搾汁精製物ゲル塗布後の創面変化から治療方針を策定した小児熱傷の1例

山田 尚弘 山形県立中央病院 救急科

O8-02 小児熱傷の上皮化における維持輸液の役割

高柳 奈央 聖隷三方原病院 形成外科

O8-03 ネキソブリッド® 使用後に壊死組織の残存を認めた 2 症例の検討

谷村 雄太

福岡大学病院 形成外科

O8-04 北海道大学病院における壊死組織除去剤ネキソブリッド® の使用経験

中村 嘉諭

北海道大学 大学院医学研究院 形成外科学教室

O8-05 塩化ジアルキルカルバモイル創傷被覆材を使用した熱傷局所療法の検討

石川 耕資

北海道大学 大学院医学研究院 形成外科学教室

一般演題 9 [口演]

第2日目：5月30日（金） 16：00～16：35 第3会場

創傷治癒②

座長：松崎 恭一

国際医療福祉大学 成田病院 形成外科

O9-01 ホルマリン暴露による角膜化学熱傷の 1 例

高田 涼太

大阪急性期・総合医療センター 救急診療科

O9-02 アルカリによる化学熱傷に対してパイナップル茎搾汁精製物を使用した一例

木本 富子

大阪急性期・総合医療センター 救急診療科

O9-03 当院のネキソブリッド® の使用経験 - 化学熱傷、手熱傷、背部熱傷 -

遠藤 淑恵

産業医科大学病院 形成外科

O9-04 ネキソブリット® 塗布時の「土手」に関する工夫

小橋 啓太

福岡徳洲会病院 形成外科

一般演題 [ポスター] 1

第1日目：5月29日（木） 16：30～17：20 ポスター会場

座長：山元 康德 石川県立中央病院 形成外科

伊東 大 宮崎大学医学部附属病院 形成外科

P1-01 Exhaust pipes 熱傷の2例

奥村 慶之 日本赤十字社和歌山医療センター 形成外科

P1-02 鼠径リンパ節郭清を要した足底熱傷瘢痕癌の1例

坪井 憲司 愛知医科大学 形成外科

P1-03 筋萎縮性側索硬化症（ALS）患者の3度熱傷の治療経験

奈良 慎平 東和病院 形成外科

P1-04 手指重度熱傷瘢痕拘縮に対し Orthoplastic Approach により良好な機能を獲得しえた1例

井出 成哉 筑波大学医学医療系 形成外科

P1-05 湿潤療法施行中に感染を伴い手術加療を要した小児熱傷の一例

秋山 豪 日本医科大学付属病院 形成外科・再建外科・美容外科

P1-06 保存的加療で治癒が得られたアルカリ熱傷の一例

二宮 駿 福岡大学病院 救命救急センター

P1-07 頭皮の Hot air sauna burns の一例

若林 奈央 長野赤十字病院 形成外科

P1-08 顔面全体の3度熱傷を治療した一例

村上 公子 奈良県立医科大学附属病院 高度救命救急センター

P1-09 黒色ゴム長靴による下肢低温熱傷の一例

崔 貴成 東海大学医学部附属病院 総合診療学系救命救急医学

P1-10 保存的治療によって治癒した灯油による化学損傷の2例

堀内 美恵 函館中央病院 形成外科

P1-11 熱傷受傷 2 カ月でセレン欠乏症となった一例

影本 渉 JCHO 中京病院 薬剤部

P1-12 高温タールによる大腿熱傷の治療経験

大塚 一輝 函館中央病院

P1-25 NexoBrid® 使用前の pre-soaking で II 度熱傷が深達化した 2 症例

青木 昂平 東京医科大学 形成外科学

一般演題 [ポスター] 2**第2日目：5月30日（金） 13：30～14：20 ポスター会場**

座長：漆舘 聡志 弘前大学医学部附属病院 形成外科

黒柳 美里 横浜市立大学附属市民総合医療センター 高度救命救急センター

P2-13 重症熱傷死亡における BMI の影響

谷崎 眞輔 福井県立病院 救命救急センター

P2-14 当科における熱傷患者の予後予測の検討

松尾 健志 大阪公立大学医学部附属病院 救命救急センター

P2-15 屋外で発症した熱中症に熱傷を併発した症例の検討

池谷 友里 東海大学 医学部 救命救急医学

P2-16 入院中のシャワー浴で両下腿以遠に熱傷を生じた一例～医療現場に潜む危険～

芦田 茉紀 信州大学 医学部 附属病院 形成再建外科学教室

P2-17 熱傷ベッドの使用が換気指標に与える影響を検討した一例

坂野 周平 新潟大学医歯学総合病院 医療技術部 リハビリテーション部門

P2-18 広島大学病院皮膚科における最近 12 年間の熱傷治療の統計学的検討

松原 大樹 広島大学病院 皮膚科

P2-19 東京都における労働環境での熱傷：30 年間の変遷から予防を考える

松村 一希 慶應義塾大学 医学部 救急医学

P2-20 大阪府における熱傷の発生数と特徴：ORION による地域住民を対象とした記述的研究

酒井 智彦 大阪大学 医学部附属病院 高度救命救急センター

P2-21 関西医科大学附属病院高度救命救急センターにおける熱傷患者の経年変化

池側 均 関西医科大学附属病院 高度救命救急センター

P2-22 マウス全身性炎症モデルにおける白血球トランスクリプトーム解析による病態解析

田島 吾郎 長崎大学病院 高度救命救急センター

P2-23 自殺企図後の重症熱傷患者について

川本 恭子 東京女子医科大学 神経精神科

P2-24 日本スキンバンクネットワーク 2024 年度 活動報告

小川 由季 一般社団法人日本スキンバンクネットワーク